

多様な学びへの対応、環境に配慮した省エネ性能、地域連携拠点

城北小学校『新校舎』が完成しました

令和5年度（2023年度）から建築工事を行ってきた城北小学校校舎が、7月に完成しました。

城北小学校校舎は、令和3年度（2021年度）に基本設計、令和4年度（2022年度）に実施設計を行い、令和5年10月に着工しました。設計段階では、建設基本計画検討委員会での検討のほか、保護者や教職員の声を聞きながら設計に反映。工期は令和7年（2025年）4月の城北小学校開校にあわせて完成となる計画を目指しましたが、昨今の物価高騰や人手不足の影響を踏まえ、やむを得ず工期を4カ月延長した工程で工事を進め、このほど完成となりました。

新校舎は、9月1日の2学期始業式から使用を開始します（校舎内に併設する「城北児童クラブ」も同様）。廊下



完成した城北小学校新校舎

新校舎使用開始に向けた今後の予定

8月23日（土）	竣工式
同 27日（水）	児童登校練習・お披露目
同 28日（木）	一般向け内覧会 ※詳しくは本ページ下部参照
9月 1日（月）	城北小学校 2学期始業式 （新校舎利用開始）
9月12日（金）	開校記念行事



多様な機能を持つブックメディアラウンジ

側の扉を全開放すると、廊下と一体となったオープンな空間としても利用可能となる普通教室や、校舎中央部分に吹き抜けで配置され図書館機能も備えたブックメディアラウンジなど、児童の個性・特性に配慮し多様な利用ができる仕様です。また断熱材や断熱ガラス等により、校舎全体の断熱性を高め、太陽光パネルも設置した省エネ性能の高い校舎となっています。

1階には地域コーディネーターが常駐する「地域交流室」を設け、2学期から本格始動

城北小学校「内覧会」のご案内

- ・日時 8月28日（木）午後3時～7時
（最終入場は午後6時30分）
- ・場所 城北小学校
（大字照里2025 城北中学校南側）
- ・持ち物 スリッパをご持参ください

【お問い合わせ】
 子ども育成課 学校教育係
 電話 0269-67-0741（課代表）

する「放課後子ども教室（アフタースクール）」の拠点として

北信越国スポ・カヌー競技に飯山市の3選手が出場

酒井・細見選手が好成績で国スポ出場決める

7月15日に石川県小松市で行われた北信越国民スポーツ大会（国スポ）カヌースプリント競技に、飯山市の酒井悠弦選手、細見茉弥選手、菅原彩花選手が出場。酒井選手が成年男子カヤックシングルで優勝、細見選手が成年女子カヤックシングルで準優勝し、今年10月に滋賀県で行われる国民スポーツ大会「わたしのIGA輝く国スポ2025」への出場を決めました。なお菅原選手は成年女子カナディアンシングルで

3位に入りましたが、惜しくも本戦出場を逃しました。飯山市では今年で結成4年目となる、いいやまカヌークラブスポーツ少年団の小中学生が毎週練習を重ね、全国大会で入賞する選手もおり令和10年（2028年）に地元北竜湖で開催する「信州やまなみ国スポ」に向けて、選手の育成も着実に行われています。

お問い合わせ

国民スポーツ大会準備課
 TEL 671-0746（課代表）

子どもを産み育てたい、と思える飯山市へ

「第三期飯山市子ども・子育て支援事業計画」策定

飯山市では、子育てを取り巻く社会状況の変化に対応した施策を推進するため、令和7年度（2025年度）から令和11年度（2029年度）までの5年間で計画期間とする「第三期飯山市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

本計画は、子どもの健やかな成長と子育てする人を地域で支えていこうという思いを大切にしながら、「飯山市第6次総合計画」や「飯山市地域福祉計画」などの関連計画との整合を図りながら施策を推進するものです。

計画策定に先立ち、令和5年度に実施したニーズ調査では、子育て環境やその満足度に関し、「満足」「おおむね満足」と回答した割合は46・4%で、前回（平成30年度（2018年度））、前々回（平成25年度（2013年度））から毎回増加する結果となりました。

第三期計画の策定にあたっては、保育園の保護者代表、事業主・労働者の代表、保育従事者の代表などで構成される「飯山市子ども・子育て会

ありがとう！ ジャネル先生

ALT（外国語指導助手）として、令和4年（2022年）から約3年間、城北中学校で英語の授業を担当していただいたマヨ・ジャネル・リン先生が7月末で退任されました。ジャネル先生には、授業や行事等を通じ、直接生徒と英語を使ったコミュニケーションを行っていただきました。

飯山市では、小中学校の児童生徒の皆さんに生きた英語を学んでいただくため、ALTを各小中学校に配置しています。



退任されたジャネル先生

第三期 子ども・子育て支援事業計画の基本的な視点

◇子どもの健やかな成長

未来を拓く子どもたちの一人ひとりの健やかな育ちを支える幼児教育・保育の推進

◇安心できる子育て

飯山市こども女性家庭センターおよび飯山市子ども館を拠点とした切れ目のない子育て支援体制の強化

◇地域ぐるみの子育て

多様な主体が参画する、地域における支え合いの子育て支援の推進

お問い合わせ

子ども育成課 こども家庭係
 TEL 671-0741（課代表）

権学習シリーズ

子どもたちの成長を見て感じるこ

木島小・城北小ALT バラガンズ・レイモン

どうすれば異文化の人々との溝を埋めることができるのでしょうか？ 近頃の出来事を見てみると、世界はますます分断されているように、よく感じます。私たちは個々の生活にとらわれ、自分とは異なる経験を理解する能力を徐々に失っています。その解決のために子どもたちに目を向けるべきだと考えています。

日本の英語教師として、私は、しばしば文化の衝突を経験します。そのような時には不快感や不安、そして孤立感を生むことさえあります。しかし、子どもたちを見ていると、人と人とのように繋がることのできるかを教えてくれます。自分の身の回りとどまらない、世界に対する彼らの好奇心は刺激的で、私に希望を与えてくれます。

他者に対する彼らの深い思いは、文化理解のための確かな出発点です。彼らの好奇心を育て、自信をつけ、コミュニケーションを促すことで、彼らは自信をもって世界と関

わることができるようになります。メディアや伝聞の影響で偏見を持つ前に、私たちは疑問を持つべきなのだ、と気づかせてくれます。言葉や対話を通して、私たちは互いを心から理解し合うことができます。子どもたちの成長を見ていると、彼らが異なる文化や地域社会との架け橋になることへの期待がふくらみます。彼らが育んできた「飯山の優しさ」が相互理解を深め、共感を育んでいくことでしょう。教師として私は日々彼らから学んでいます。そのことに深く感謝しています。ありがとうございます。

※文章はご本人が英語で書いたものを、教育委員会事務局で日本語訳しています。英語原文は左の二次元コードをご覧ください。



This article is available in English. Please view it using the QR code.